

# 第1回きずなづくりトーク（錦田小学校区） 概要記録

平成24年7月3日  
錦田公民館

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	錦田地区ふれあい広場を10月に開催する予定で、公民館の祭りと一緒にできないか検討している。御門自治会では、子どもと老人のふれあいイベントが活発。餅つき大会、手打ちそばなどを計7回ほどやってきた。運動会の中で防災訓練を行っている。昨年不審者が出たのでスクールガード活動が始まった。登校時と下校時に行っており、あいさつ運動も兼ねている。自治会の世帯数が500を越えているので、地域活動が大変だと感じる。防災関係では特に連携が必要。8月に図上訓練を行うが、老人会対象の訓練も行いたい。
自治会長	松が丘は121世帯、自治会ができて12年目になる。75歳以上の高齢者は二人だけで、あとはサラリーマン。子どもは地域の宝事業の対象者は去年、今年で1名ずつで街が若い割には少子化が進んでいる。6月に一斉清掃、7月に1週間、8月に2週間ラジオ体操を行っている。夏祭りは中高校生を中心に企画を行っている。11月に防災訓練、1月に餅つき大会を開催している。
自治会長	5月に側溝清掃を行っている。秋に防災訓練を行っており、一昨年は同時に炊き出し訓練を行った。毎月、子ども会と協働で公園の掃除、廃品回収の手伝いを行っている。
自治会長	8月の夏祭りは子ども会が主体で、おみこし、シャギリを行っている。1月に餅つき大会を行い、大会の中で子どもは地域の宝事業のお祝いイベントを行った。高齢者、一人暮らしが多いので、町内では回覧板、広報を手渡しで回すようにしている。主治医、病院、持病、服用している薬、緊急時の連絡先などの情報を紙に記載して冷蔵庫に貼っておくようお願いしている。
自治会長	谷田自治会は324世帯。2年に1度、5月に側溝清掃を行っている。ウォーキングも行っているが今年は中止になった。8月下旬に防災訓練、9月に運動会を行っている。錦田地区の運動会には参加しておらず、町内で運動会を開催している。谷田公民館横の小さな広場で行うので、子どももお年寄りもあまり疲れることなく楽しくやっている。1月にどんど焼きを子ども会と共催で行っている。
自治会長	谷田城の内自治会は55世帯で、75歳以上の高齢者は3分の1ほどいると思う。一人暮らしは10世帯以上あり、空き家も増えてきた。年に1度、側溝の清掃を行う程度で、地域行事はほとんど行えていない。子ども会も老人会もない。組織を作るパワーが不足していると感じる。回覧板や広報を手渡しする、冷蔵庫に連絡先などの情報を書いた紙を貼るといったアイデアはとても参考になった。
自治会長	町内の歴史が古いので、核家族化が進んでいる。後ろ向きの方が多いので、行事の参加率が悪く活発ではない。子ども会が一度中断していたが、今年から復活したのでこれをきっかけに地域活動を活発にしていきたい。あいさつが活発な町内にできるよう頑張りたい。
自治会長	塚原自治会は66世帯。年4回、あじさい通りの草刈活動を行っている。9月に防災訓練を行う。10月の山神社の祭典が町内の一大イベントで、老人会、子ども会などすべての団体に参加してもらうようにしている。1月に子ども会主催でどんど焼きを行っている。
自治会長	4月に桜祭りを行っており、その中で焼きそば、豚汁を作ったり、餅つき大会をやったりして町民のふれあいの機会を作っている。スクールカード活動、町内一斉清掃、防災訓練、運動会などを行っていく予定。

発言者	発言要旨
自治会長	町内は79世帯。メインの行事は運動会で、60世帯ほどは集まっている。川清掃、八王子神社の祭りなどを行っている。部農会などいろいろな活動団体がある。消防団へ入ってもらえると、活動を通じてきずなができると思う。竹倉は明治以前からある地名なので大事にしていきたい。
老人クラブ	子ども会、老人会、自治会の3つの団体が協働で行事を行うことができている。老人会長として図上訓練に参加したとき、他の高齢者にも是非参加してほしいと思った。老人会の活動としては、ビンゴ、手芸、輪投げなどを、皆で揃ってやっていきたい。
子ども会	世帯数が多い割には、子ども会への参加者が少ない。子どもが高学年になると、役員が嫌ということで辞めてしまうので、親の負担をどうするか考えるべき。シャギリ、廃品回収の手伝い、どんど焼きなどをやっている。
小学校PTA	父親を集めて「おやじの会」を立ち上げた。2月から活動を開始し、学校のグラウンドに土を入れたり、遊具のペンキ塗りなどを行っている。父親同士の夜の交流会を行ったり、楽しく活動している。
幼稚園PTA	錦田幼稚園は4年前に子ども園になったが、幼稚園と保育園の子どもの交流が深まったので良かったと思う。広範囲から幼児が通っているので、車で通う子どもが多くなり、近隣住民に迷惑をかけているので、対策を園長先生と考えている。
小学校長	4月から赴任して最初に感じたことは、地域の人々が子どもを手厚く見守ってくれていること。地区であいさつの風土がしっかりできている。子ども達が問題を起こしたとき、地域の人々の指摘は叱るのではなく、学校にこうしてほしいというお願いの形式なのでとても優しいと感じる。ふれあい創出は今まで通りの普段の手厚い見守りを続けてくれればできると思う。
保健委員	谷田の保健委員は任期二年で、今年二年目になる。健康相談会が主な活動。老人会が中心で参加者は20名程度。昨年のテーマはこころのケアと転倒防止で、血圧検査などを行った。今年は一般の方々にもっと参加してもらえるように検討していきたい。
自治会役員	環境美化推進委員の活動としては、主に子ども会の廃品回収の手伝いをしている。
自主防災会	先月、錦田校区の第5避難所で防災会議があった。マニュアルは立派なものがあるが、それを使いこなせるのか不安なので、パッと見てすぐ使えるようなものを作ろうとしている。
民生委員	民生委員の高齢者調査があるが、民生委員一人あたりの調査人数が多くて負担になっている。要援護者介護の調査は、個人情報の問題があって賛成者が少ない。民生委員と町内会長が連携して調査したほうが良いと思う。
民生委員	塚原はかなり小さい自治会だが、錦田の運動会に塚原は毎年参加している。なぜ他の大きな自治会はもっと真剣に取り組まないのか。なぜ1年に1度だけなのにできないのか不思議ではない。
自治会長	子どもは地域の宝事業では、依頼を承諾した方のみお祝いをする。承諾しない方についてもお祝い品を渡すくらいのはしていいのでは。

発言者	発言要旨
市民団体	運動会の衰退について、錦田地区でも体育振興会が実行委員をやっているが、体育振興会自体が衰退していることが問題。例えば、ある地域では、体育振興会が運動会の幹旋をしても、老人会から自治会の運動会に参加するから校区の運動会は参加しないと言われたようだ。自治会と体育振興会の連携が大事。ふれあい創出のための活動を各自治会だけで行うことは大変。あしたを考える会は交通安全協会錦田支部を下組織に持っており、食育部会などの専門部で組織化している。交通安全勉強会を行っており、勉強会の後に食育部会が流しそうめんを行うので、指導員、子ども達、保護者とのふれあいができている。活動を継続するには、協力できる組織を作ることが大切。
老人クラブ	老人会は年を取ってしまい、解散する老人会が増えている。原因は役員をやるのが大変なことだと思う。高齢者はパソコンができないから書類を作るのが大変。老人会へ退職後間もない若い世代が入ってくれない。
環境美化推進委員	特に子どもは公園の使用状況が悪いので、対策を取っている。公の場での行動について各家庭で指導してほしい。資源回収では、倉庫を作って各家庭から持って来てもらい、貯まったら業者に出している。
民生委員	10年間、月曜日に学校で子ども達と花を植えている。子ども園周辺に花畑を作らせてもらっているが、錦田を花でいっぱいにする活動を行っていきたい。
自治会役員	高齢者と障害者が被災した時に、どのように声かけを行うかが課題。動けない人をどのように運び出すか検討している。
環境美化推進委員	老人会で花を植えているが、ゴミのポイ捨てが減らないので景観が悪くなって台無しである。
環境美化推進委員	子ども会の廃品回収に参加している。子ども会は働き世代の人が一度入っても抜けてしまうので心配。谷田自治会は強制入会ではないので、一人暮らしの人が入ってくれない。
老人クラブ	自分は高齢なので、皆が決めてくれたことにできる範囲で協力していきたい。
自治会長	市から会長あてに送られてくる文書は2部いただきたい。1部だとコピーをとる必要があるから。
自治会長	老人会が消滅してしまう、子ども会の役員が大変だという話があった。事務局の仕事をフォローしてくれれば役員の負担が減ると思う。市からコーディネータ育成の話聞いたので、その中で事務局の件も検討してほしい。